



いのちのインクルージョン
～対話の力を信じて～
日本仏教看護・ビハーラ学会第19回年次大会

報道資料

2023年3月吉日

日本仏教看護・ビハーラ学会第19回年次大会実行委員会

ポストコロナ時代への処方せん、「対話の力」を呼び覚まし
いのちのつながりと温もりを体感する二日間!

「いのち」を巡って顕在化している諸問題について、仏教・医療・看護・福祉・教育などを共通のキーワードとして一堂に会し、話し合い研究し、実践に結び付けることを目指す学会である日本仏教看護・ビハーラ学会は6/10(土)6/11(日)の2日間にわたって新潟市江南区の大栄寺で**第19回年次大会**(メインテーマ「いのちのインクルージョン～対話の力を信じて～」)(学会長:新潟県立がんセンター新潟病院内科部長 今井 洋介 大会長:ささえ愛よろずクリニック院長 今村 達弥)を対面とリモートのハイブリッドで開催します。分断と喪失への恐れによる得体のしれない不安感が社会全体を覆い尽くそうとする中、仏教をもとにした日本的な関わりで、あらゆるいのちがインクルージョンされ、つながりを取り戻し、生老病死が生き生きとした過程となり得るための理論と具体的な方法論についてその第一人者より伺い、大いに語り合います。

*ビハーラとは:サンスクリット語で、「精舎・僧院」「身心の安らぎ・くつろぎ」「休息の場所」を原意とします。当会顧問の田宮仁氏が1985年に「仏教を背景としたターミナルケア施設」の呼称として提唱されました。

*インクルージョンとは:一般には包摂と訳されますが、包容と訳される場合もあります。すべての障害のある人が地域社会に包容されることで排除と従属化のない社会の実現を求めていく理念です。

基調講演は、本邦で最も著名な文化人類学者の一人である上田紀行氏(東京工業大学副学長)にご登壇いただきます。上田氏はかつてダライ・ラマ法王との対話を果たされ、「この現代に仏教を活きたものとすべく」まさに仏教ルネッサンスのための著作と活動をなさって来られました。また、リベラルアーツ教育(リベラルアーツ教育とは、現代社会のさまざまな問題に立ち向かうための「総合力」を養う教育のこ

と)にも携わってこられた方です、次世代の地域づくりにおいて僧侶や寺社仏閣などの社会資源が魅力ある存在となり得るための刺激的なご提言を頂きます。

6/10 (土) シンポジウム1『社会にアウトリーチする仏教』では

「山を下り野に放たれた(寺を出て地域で活動する)」仏教者の実践を披露していただきます。誰も行きたくない所、自分が歓迎されない場所に出向くのが出家者の真骨頂でしょう。寺を出て、刑務所やドヤ街、病院や被災地、紛争地へ越境する活動が、衆生の囚われや恐怖心、穢れの意識を変えていくのではないのでしょうか。

* アウトリーチとは：個別のニーズに応じて生活の現場に出張よろず相談をする活動の総称です。

6/11 (日) シンポジウム2『コミュニティの人柱とならん～開拓する地域包括ケア～』では

真の地域包括ケアシステムのために活動する第一線の実践家にご登壇いただきます。(地域包括ケアとは、市町村が定める日常生活圏域(中学校区等)において、高齢者の方が要介護等の状態になっても必要に応じ、在宅医療、訪問介護・看護、介護サービスや見守り・配食等の様々な生活支援サービスの提供等により、住み慣れた居宅、地域で暮らし続けることを目指すものです。) 利他の心による、豊かで創造的な地域包括ケアの実践について考察します。

宿泊: 大栄寺の宿坊もしくは北方文化博物館の大呂庵

大栄寺は北越の古禅寺として数多くの禅僧が修行に励んだ大道場です。隣接する北方文化博物館は全国屈指の豪農であった伊藤家の旧邸宅です。贅を尽くした日本庭園には古代蓮の池があり、エキスカッションを企画しています。また、夜は懇親会の後、当学会名物の音楽も交えて語り明かす「ラートリカサンガ」を開催します。

その他、2日目早朝の座禅体験の企画もあります。

大会長

ささえ愛よろずクリニック院長・精神科医

今村 達弥



学会長

新潟県立がんセンター新潟病院・内科部長

今井 洋介





シボジカメ1座長
東北大学教授
谷山洋三



伊藤 竜信 (浄土宗西蓮
寺住職・臨床仏教師・
米沢わげんの会代表)



葛岡 誠 廣
東京工業大学副学長
上田 紀行



上馬 和夫
(日本アール・エコルヴェー
ダ協会理事長)



堀 眞 哲 (浄土宗真福寺住
職・Terra Net代表) 仏教
的 社 会 活 動 資 源 の プ ラ ッ
ト フ ォ ー ム を 建 立 し、 世
界 で 災 害 支 援 を 精 力 的 に
行 う



西岡 秀 寛 (曹洞宗普濟禪寺
住職・東方学院講師)

シンポジウム1
社会にアウトリーチする仏教



玉置 妙 真 (非営利一般
社団法人大慈学苑
講師・僧侶)

シンポジウム2
コミュニティの人柱とならん
～開拓する地域包括ケア～



大 河 内 大 博 (浄土宗願生
寺住職) 訪問看護ステーション
シン成 代表・宇野アレン



石川 麗 子 (訪問看護ス
テーション街のイセキ
ア代表理事)



シボジカメ2座長
淑徳大学大学院教授
郷 堀 ヨゼフ



コメンテーター
京大名誉教授
(神通ソングライター)
鎌田 康二

参加申し込みは、以下の QR コードから Goole フォームにて申し込みください↓

対面参加用 QR コード ↓



オンライン参加用 QR コード ↓



- ・ 郵便振替口座への振込み又は PayPal 決済をもって、申し込み完了となります。

<ゆうちょ銀行からの振り込みの場合>

記号番号 00980 - 4 - 196310

口座名 日本仏教看護・ビハーラ学会大会実行委員会

<ゆうちょ銀行以外からの振り込みの場合>

銀行名 ゆうちょ銀行

支店名 ○九九店（ゼロキユウキユウ店）：（店番 099）

預金種目 当座

口座番号 0196310

<PayPal 支払いの QR コード>



【イベント概要】

日本仏教看護・ビハーラ学会第 19 回年次大会

会場：曹洞宗 隆明山 大栄寺 〒950-0205 新潟市江南区沢海 3 丁目 3-18

日時：6 月 10 日（土）13:00～6 月 11 日（日）15:30

参加費：

正会員・支援会員	対面	6,000 円	オンライン	4,000 円
非会員	対面	7,000 円	オンライン	5,000 円
学生会員	対面	3,000 円	オンライン	2,000 円
学生非会員	対面	3,500 円	オンライン	2,500 円

問合せ先 日本仏教看護・ビハーラ学会 第19回年次大会実行委員会事務局

〒956-0854 新潟市秋葉区滝谷町4-20 ささえ愛よろずクリニック内

E-mail:vihara2023@gmail.com

共催:曹洞宗 隆明山 大栄寺 〒950-0205 新潟市江南区沢海3丁目3-18

協賛:株式会社コロナ・ささえあい生活協同組合新潟・株式会社日比野音療研究所・ひかりキッズ・中外製薬
・満福会・百働会・株式会社日栄ビル管理・ささえ愛よろずクリニック・フェニックス調剤薬局